

* フォローアップコース学習目標

1. ストーマ装具・創傷治療材料

GI0：管理困難なストーマ保有者に合わせた適切なストーマ装具を選択できるようになるために
ストーマ装具・創傷治療材料について特徴を理解し、選択方法を修得する

SB0：

- 1) 皮膚保護材の組成と特徴*¹⁾ 説明できる
*¹⁾ 作用、材形別分類など
- 2) ストーマ装具の分類*²⁾ が説明できる
*²⁾ システム、面板、勘合部、ストーマ袋など
- 3) ストーマ装具の分類の特徴と適応例について説明できる
- 4) 合併症を引き起こす要因となる不適切な装具の使用例*³⁾ が説明できる
*³⁾ 面板ストーマ孔の大きさの不適合、超長期間貼付など
- 5) 管理困難なケアに使用する創傷被覆材の種類と特徴について説明できる
- 6) 管理困難なケアに使用する外用薬の種類と特徴について説明できる
- 7) 創傷被覆材と外用薬の適応例について説明できる

2. 身体的管理困難なストーマケア

GI0：管理困難なストーマを持つ人が安心して日常生活を送れるよう支援するために、管理困難となる要因について理解し、その適切なケア対策を修得する

SB0：

- 1) ストーマの局所的なフィジカルアセスメントが説明できる
- 2) ストーマの局所的なフィジカルアセスメントできる（演習課題）
- 3) ストーマの大きさ、高さ、形状、腹部の皺・窪みによる管理困難への対処方法について説明できる
- 4) ストーマと近接する創など*³⁾への対処方法について説明できる
*³⁾ 離開創、潰瘍、ドレーンなどの医療器具
- 5) 管理困難となるストーマ合併症*⁴⁾への対処方法について説明できる
*⁴⁾ ストーマ接合部離開、肉芽の増殖、粘膜皮膚移植、腸脱出、ストーマ傍ヘルニアなど
- 6) 管理困難となる皮膚疾患*⁵⁾への対処方法について説明できる
*⁵⁾ 発赤、糜爛、潰瘍、膿痂疹、真菌、薬剤性の皮膚症状（ステロイド、化学療法など）、尋常性乾癬、紅皮症、放射線性皮膚炎など
- 7) 瘻孔の分類*⁶⁾について説明できる
*⁶⁾ 開口部、形状、内容物等
- 8) 瘻孔への対処方法*⁷⁾について説明できる
*⁷⁾ ドレナージ、皮膚保護、パウチング法、持続吸引など
- 9) 身体的管理困難*⁸⁾への対処方法について説明できる
*⁸⁾ 手の巧緻性、視力、認知機能全身状態等
- 10) 局所的な管理困難に対応できる人的資源*⁹⁾について説明できる
*⁹⁾ 医師、WOCN、看護師、ストーマ用品取扱業者
- 11) 管理困難に対応するための適切なケア方法が選択できる（演習目標）

3. 社会的管理困難

GI0：ストーマ保有者が安心して日常生活が送れるように、継続して適切なケアを提供し、社会的背景に配慮した退院後の社会資源の活用方法を修得する

SB0：

- 1) 管理困難となる社会的要因*¹⁰⁾について説明できる
*¹⁰⁾ 独居、高齢者世帯、家族の理解不足、看護師の知識・技術不足、入院期間短縮、経済的問題など
- 2) 管理困難に対応できる社会資源*¹¹⁾の概略について説明できる

*¹¹ 身体障害者自立支援法、年金法、自治体による助成、難治性特定疾患、社会適応訓練事業、介護保険、医療保険（がん疾患、特定疾患）等

3) 社会的な管理困難に対応できる人的資源*¹² および関係窓口について説明できる

*¹²MSW、退院調整看護師、ストーマ外来、訪問看護ステーション、地域連携病院、介護福祉施設、行政等

4) 人的資源や社会的資源を活用したストーマ保有者のフォローアップ計画を立案できる

4. 困難なストーマの位置決め

GI0: ストーマの位置決め原則に当てはまらない患者が安全に手術を受けられるよう支援するために、患者の心理状態や社会的背景に配慮しながら、セルフケア可能なストーマの位置が決定できる能力を修得する

SBO :

- 1) 「ストーマの位置決め原則」の理由と限界について述べることができる
- 2) 緊急手術時の位置決めにおける配慮すべき点が説明できる
- 3) 肥満者の位置決めにおける配慮すべき点が説明できる
- 4) 術前後で腹部の形状が変化する場合の位置決めにおける配慮すべき点が説明できる
- 5) 腹部に平面の確保が困難な状況*²⁰での位置決めにおける配慮すべき点が説明できる
*²⁰ 腹部のたるみ、しわ、くぼみ、腹壁ヘルニア、術創瘢痕、瘻孔、ドレーン挿入等
- 6) がんの進行の程度や過去に行った骨盤内放射線治療の影響がある場合の位置決めにおける配慮すべき点が説明できる

5. 排尿ケア

GI0 : 排尿に問題がある手術後の患者を支援するために、手術に起因する排尿障害を理解し、適切なケア方法を修得する

SBO :

- 1) 手術に起因する下部尿路障害*¹³の説明ができる
*¹³ 代用膀胱の合併症を含む
- 2) 尿失禁の定義と発生機序が説明できる
- 3) 下部尿路障害の問題点のアセスメント*¹⁴について説明できる
*¹⁴ 問診、排尿日誌
- 4) 下部尿路障害の専門的検査*¹⁵の概略を説明できる
*¹⁵ 尿検査、尿流量測定検査、残尿測定、ストレステスト、尿流動態検査、膀胱鏡検査、尿路造影検査、パッドテスト等
- 5) 下部尿路障害の対処方法*¹⁶が説明できる
*¹⁶ 薬剤、CIC（導入・計画）、排尿訓練等
- 6) 排尿機能を高める方法としてのリハビリテーション*¹⁷の適応が説明できる
*¹⁷ バイオフィードバック、骨盤底筋訓練
- 7) 尿による皮膚障害についてアセスメントできる
- 8) 尿による皮膚障害の対処方法*¹⁸が説明できる
*¹⁸ 洗浄方法・撥水剤・被膜剤・皮膚保護剤・外用薬など
- 9) 適切な排泄用具*¹⁹の選択が説明できる
*¹⁹ シース型集尿器、カテーテル、おむつ、パッド